

お知らせ

平成25年10月2日
東北電力（株）

当社原子力発電所における燃料集合体ウォータ・ロッドの 曲がりに係る点検状況について（中間報告）

当社は、平成24年11月28日、原子力規制委員会より、指示文書「東京電力株式会社柏崎刈羽原子力発電所第5号機の燃料集合体ウォータ・ロッド^{*1}の曲がりについて（指示）」を受領しました。

本指示に基づき、女川3号機および東通1号機の使用済燃料プールに貯蔵されている燃料集合体の外観点検を実施し、その結果、ウォータ・ロッドの曲がりを含む、損傷や変形等の異常がないことを確認したことなど、それまでの点検等の状況を中間報告として取りまとめ、平成25年1月7日、原子力規制委員会へ報告しました。
（平成25年1月7日お知らせ済み）

上記の報告から現時点までの状況として、女川2号機の使用済燃料プールに貯蔵されている女川1号機および2号機の燃料集合体の点検結果等を取りまとめ、本日、原子力規制委員会へ報告しました。

今回の報告における点検の状況は、以下のとおりです。

- 女川1号機の燃料集合体について、再使用チャンネルボックス^{*2}を装着した69体のうち5体、チャンネルボックスを脱着した履歴のある12体のうち2体について、それぞれ抜き取りによる外観点検を実施し、ウォータ・ロッドの曲がりを含む、損傷や変形等の異常がないことを確認した。
- 女川2号機の燃料集合体について、再使用チャンネルボックスを装着した88体のうち5体、チャンネルボックスを脱着した履歴のある122体のうち16体について、それぞれ抜き取りによる外観点検を実施し、ウォータ・ロッドの曲がりを含む、損傷や変形等の異常がないことを確認した。
- 女川2号機のチャンネルボックスを脱着した履歴のある燃料集合体122体のうち今後原子炉内に装荷を予定している4体の外観点検を実施し、ウォータ・ロッドの曲がりを含む、損傷や変形等の異常がないことを確認した。

なお、本件に係る点検は、これまでに女川2号機および3号機の燃料集合体について終了しており、今後は、女川1号機（原子炉内、使用済燃料プール内）、東通1号機（原子炉内）の燃料集合体について計画的に点検を実施してまいります。

以上

- ※1 燃料集合体の中央部に燃料棒と並行して設けられている中空の管で、内部に冷却材を通すことにより燃料集合体内部の出力の最適化を図るもの。

- ※2 原子炉内において使用実績のあるチャンネルボックスを、別の新燃料に取り付けし、再び原子炉内で使用したもの。チャンネルボックスは、燃料集合体を覆っている四角い筒状のもので、燃料集合体内の冷却材流路を確保するとともに制御棒のガイド等の機能を持つ。東京電力株式会社柏崎刈羽原子力発電所5号機において、再使用チャンネルボックスを燃料集合体に取り付ける際、燃料集合体に過大な荷重を加えたことでウォータ・ロッドの曲がりが発生した可能性が大きい旨が、原子力規制委員会へ報告されている。

(添付資料)

燃料集合体ウォータ・ロッド概略図 (高燃焼度8×8燃料の例)